

【CPHI Japan 2026 : CMC セッションレポート】

本セッションは「CMCを通して医薬品の未来を考える」をテーマに、創薬シーズの多様化やグローバル化の中で、CMCを競争力の源泉へと変貌させるための課題と展望について討論が行われました。

当日は、製薬・CDMO・ベンチャーの各専門家が登壇。国際情勢を踏まえたトレンド分析に加え、三者の視点から「POC取得の加速」や「共創戦略」について課題提起と提案が示されました。会場はほぼ満席の盛況ぶり、参加者が真剣に耳を傾ける姿が見られました。専門家のリアルな事例共有を通じ、日本の創薬エコシステム打開に向けた具体的なアクションを提示する有意義な場となりました。



司会進行:

大塚製薬株式会社 薬事部 薬事部長 西野 潤一 氏 / DIA Japan 代表理事 新美 満洋 氏

講演(演題と演者)

『国際情勢の変化を踏まえた業界全体のトレンド分析』

株式会社ミクス 代表取締役 / ミクス編集長 沼田 佳之 氏

『CDMO と共創する新たな CMC 戦略 — 製販企業からの提言 —』

武田薬品工業株式会社 ファーマシューティカル・サイエンス クリニカルプロダクション & アライアンスインターナル
GMP ファシリティマネジメント ヘッド 長尾 将男 氏

『CDMO の視点 CDMO から見た CMC 開発 (バイオ医薬品)』

富士フイルム富山化学株式会社 富山研究開発センター CMC 研究部 DDS グループ グループ長 長遠 裕介 氏

『CDMO の視点 CDMO から見た CMC 開発 (低分子化合物)』

スペラファーマ株式会社 大阪研究センター センター長 米山 修司 氏

『ベンチャーの視点 スタートアップから見た CMC 開発』

シノビ・セラピューティクス株式会社 VP, CMC & Manufacturing 前田 瑛起 氏

講演者を交えたパネルディスカッション

DIA Japan では、今後もこのような議論の場を継続して提供していきますので、ご期待ください。